

自然系博物館における学習支援

～植物分野の学びを支援するために先生方のニーズを知る

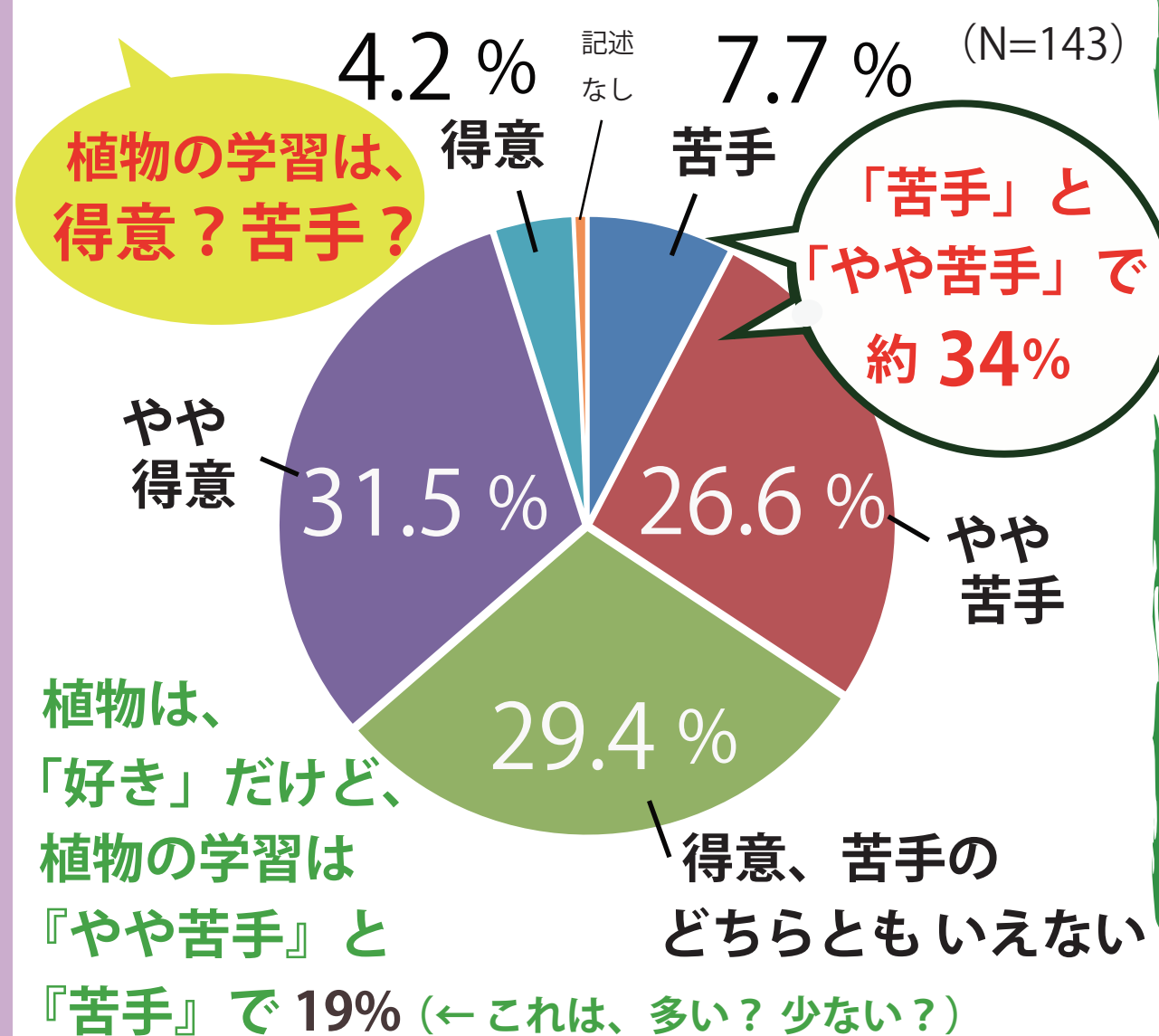


自然・環境再生研究部 コミュニケーション・デザイン研究グループ 小舘 誓治



▲「身近な植物観察の仕方」の様子

<先生自身の植物に関する学習について>

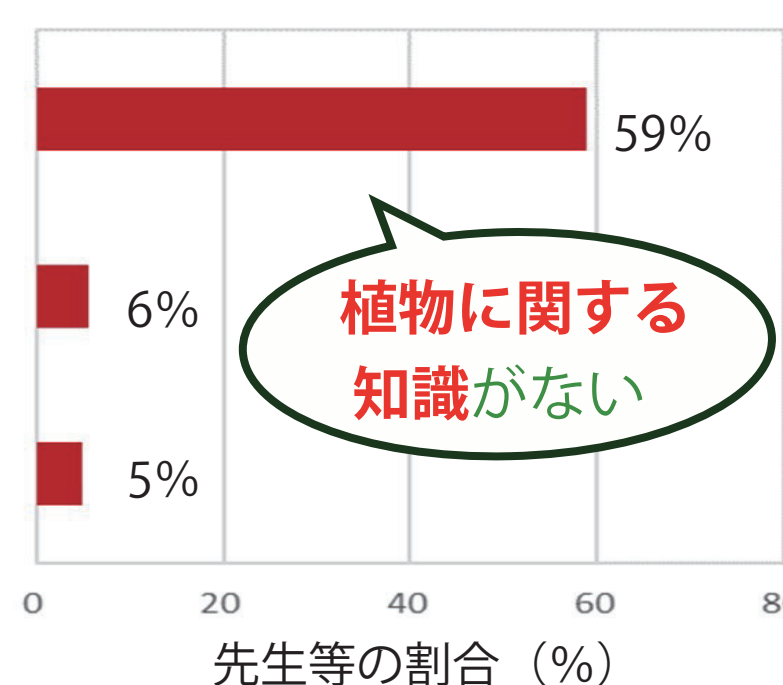


学校の先生や自然についての指導者向けに、ひとはくでは夏休みの期間を利用して「教職員・指導者セミナー」を実施し、先生方の学習支援を行っています。私はここ数年、植物分野の「小さな子どもの指導者向け 身近な植物観察の仕方」を担当しています。毎回このセミナーが始まる前に下記の項目をお聞きするようになっています（自由記述式アンケート）。また、セミナー終了後には、受講の感想とともに植物についての「好き」「嫌い」なども伺っています。お聞きした項目とそれぞれの主な意見をまとめると次の通りです。

- ・項目1. 植物分野の学習をする上で、困ったことは何ですか？
- ・項目2. 本日は、何を学びたいですか？

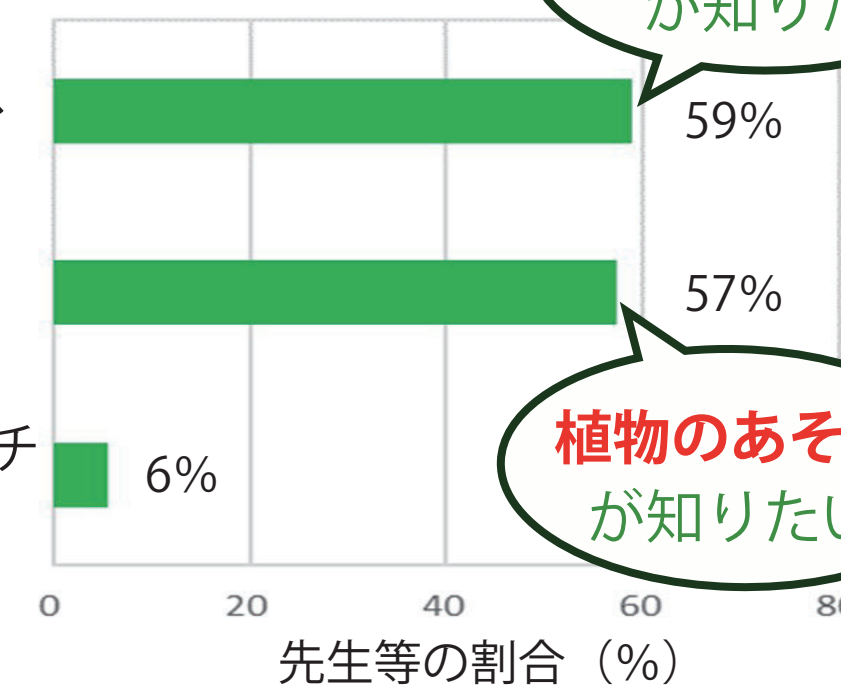
<植物の学習で> (N=124)

1. 植物の名前がわからない・知識がない、観察ポイントがわからない
2. 身近に（探している）植物がない
3. 子どもが興味を持っていない



項目2. 学びたいこと

1. 使える観察・知識、観察ポイント
2. 興味がわくこと・遊び（植物あそび）
3. 指導方法（スケッチ・説明の仕方）



<植物は、「好き」？「嫌い」？> (N=143)
「好き」74.1%、「嫌い」0.7%、どちらともいえない25.2%

このような情報をもとに、できるだけ先生方のニーズに応えたいと考えています。